

「雨水を飲み水に変える装置」 実証設備

- 発表者:
〒807-0831
- 北九州市八幡西区則松220-1
前田興業株式会社
- 代表取締役 前田行廣
- 電話 093-695-2010
- Fax 093-695-2011



開発の背景

- 多降雨国の日本でも深刻な水不足
- 雨水は、やがて腐敗し異臭を放つ。
- ボウフラが湧く。
- 直射日光に当たれば藻が発生する。
- 雨水は基本的には「蒸留水」で安全。
- 何とか飲料水に変えることはできないものか？

「雨水を飲み水に変える装置」の特徴

- 小型軽量のため、スポット的な利用が可能。
- 規模を大きくもできるし、貯水タンクを増設すれば大量に貯水できる。
- シンプル構造のため、メンテナンス簡単。
- 災害時の臨時の生活用水確保に利用
- 頻繁に掃除をしても浄化能力は低下しない。
- 山間、離島、僻地でも使用可能。

1次処理槽 1m³
1st Treatment Tank

処理水の特徴

- 化学物質、添加剤、薬剤等は一切使用していないので人体に安全である。
- 処理水は容易には腐敗しない。
- オゾン殺菌しているのでトリハロメタンなどの発癌性物質を生成しない。
- 次亜塩素処理水のような異臭がしない。
- 実証設備において、Ph4.8の雨水がPh7.0に変化できた。

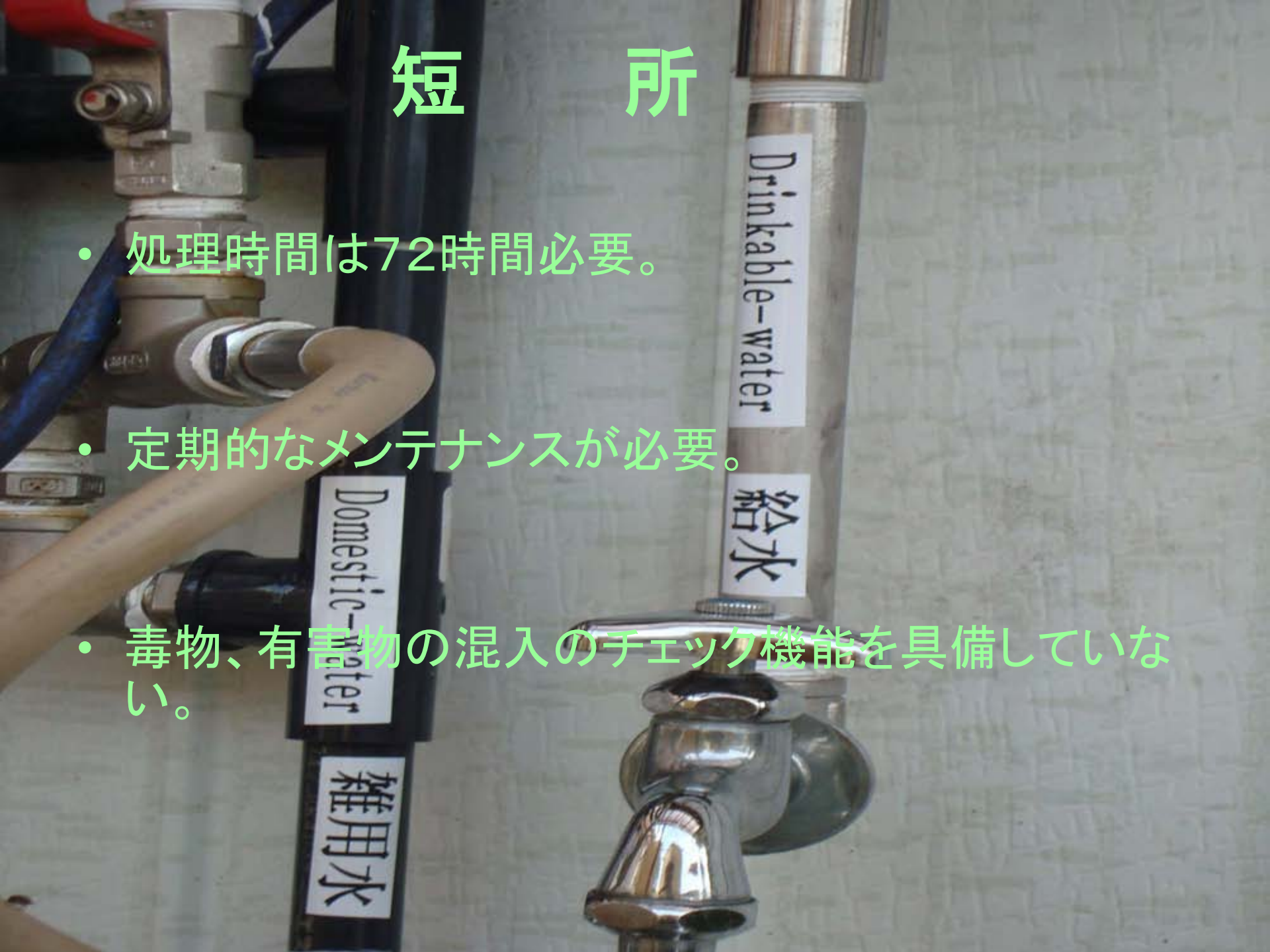
設置条件

- 軒樋などの集水装置が必要。
- 設置する為の水平なスペースの確保。
- ポンプ及び殺菌装置のための電源が必要。



短 所

- 処理時間は72時間必要。
- 定期的なメンテナンスが必要。
- 毒物、有害物の混入のチェック機能を具備していない。



雨水飲料水化システムフローシート

